

# 2019年度の産学連携プログラムの実施状況

## Industry-University Consortium on Logistics

ロジスティクス産学連携プログラムは、流通経済大学流通情報学部が2010年度に正式に立ち上げ、今年度が10年目となります。その間、プログラムは確実に定着し、様々な効果が出ています。さらに2018年度から展開している文部科学省私立大学研究ブランディング事業「高度なロジスティクス実現に向けての研究拠点形成と人材育成—高度なロジスティクス・イノベーション・プロジェクト—」の人材育成の主要な柱として位置づけられています。

プログラムの講師は、ロジスティクス関連の業界団体、物流業、運輸業、メーカー、卸売業、小売業、コンサルタントなど、企業を中心とした幅広い人材で構成されています。

ロジスティクス産学連携プログラムとして、従来から「ロジスティクス実践講座」、「物流マネジメント実践講座」、「国際物流実践講座」、「情報システム実践講座」、「ダイレクトマーケティング実践講座」、「ロジスティクス企業訪問講座」、「ロジスティクス改善演習」の7科目がありました。さらに、2018年度より、新松戸キャンパスで「IoTロジスティクス実践講座」、龍ヶ崎キャンパスで「地域ロジスティクス実践講座」を開講し、計9科目となりました。また、関連する寄付講座として、「日本通運寄付講座」、「全国通運連盟寄付講座」

の2科目があります。

本稿では、2019年度の実施状況の概要をご報告させていただきます。「ロジスティクス実践講座」は、担当教員がサバティカルであったため開講しませんでした。「日本通運寄付講座」は、春学期に龍ヶ崎キャンパス、秋学期に新松戸キャンパスで開講し、それぞれ全15回、日本通運NITTSUグループユニバーシティの山根泉氏に講義をしていただきました。

なお、「情報システム実践講座」、「ダイレクトマーケティング実践講座」、「ロジスティクス企業訪問講座」、「日本通運寄付講座」、「全国通運連盟寄付講座」は2学年以降の履修科目、「ロジスティクス実践講座」、「物流マネジメント実践講座」、「国際物流実践講座」、「ロジスティクス改善演習」、「IoTロジスティクス実践講座」、「地域ロジスティクス実践講座」は3学年以降の履修科目となっています。

また、2020年度については新型コロナウイルスの対応として、本プログラムの講義科目はすべてオンライン授業で実施し、「ロジスティクス企業訪問講座」は非開講となっております。

### ①「物流マネジメント実践講座」の2019年度の実施状況

「物流マネジメント実践講座」は、トラック、鉄道、3PL等の物流事業者及び有識者を招

き、ロジスティクス管理に関する現状を学ぶことを目標としています。また、企業の物流戦略や多様な物流サービスの事例といった最新の動きについても学びます。半期科目であり、春学期は新松戸キャンパスで、秋学期は

龍ヶ崎キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表1、表2のとおりです。新松戸の受講生数は95人、龍ヶ崎の受講生数は18人でした。

表1 「物流マネジメント実践講座－春学期、新松戸」の2019年度の実施結果(95名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 小野秀昭
2	講座受講に必要な知識	流通経済大学 小野秀昭
3	トラック運送産業の概要	一般社団法人東京都トラック協会 井上豪氏
4	市場流通の役割と実際	コンサルアグリ 藤井憲雄氏
5	3PLの役割と実際	川崎陸送(株) 樋口恵一氏
6	内航海運の現状	国立開発研究法人海上技術安全研究所 松倉洋史氏
7	鉄道貨物輸送の仕組みとJR貨物の取り組み	日本貨物鉄道(株) 吉田真也氏
8	宅急便の変遷と近年の変化	ヤマト運輸(株) 中西優氏
9	重量品輸送(道なき山奥へ風力発電輸送、真夜中の新幹線輸送、海外の巨大プラント建設)	(株)日通総合研究所 福島茂明氏
10	美術品の輸送のポイント	元日本通運(株) 浅賀博靖氏
11	コンビニ配送の現状と課題	大島運輸(株) 大島弥一氏
12	物流における倉庫の役割	一般社団法人日本倉庫協会 田代信行氏
13	ロジスティクス分野のIT活用事例	ニュー・リレーション・インフォ・ビズ(株) 足立研二氏
14	物流の業際サービス	流通経済大学 小野秀昭
15	講座の復習とまとめ	流通経済大学 小野秀昭

表2 「物流マネジメント実践講座－秋学期、龍ヶ崎」の2019年度の実施結果(18名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 小野秀昭
2	講座受講に必要な知識	流通経済大学 小野秀昭
3	トラック運送産業の概要	一般社団法人東京都トラック協会 井上豪氏
4	鉄道貨物輸送の仕組みとJR貨物の取り組み	日本貨物鉄道(株) 吉田真也氏
5	市場流通の役割と実際	コンサルアグリ 藤井憲雄氏
6	3PLの役割と実際	川崎陸送(株) 樋口恵一氏
7	宅急便の変遷と近年の変化	ヤマト運輸(株) 中西優氏
8	物流における倉庫の役割	一般社団法人日本倉庫協会 田代信行氏
9	内航海運の現状	国立開発研究法人海上技術安全研究所 松倉洋史氏
10	文化財・美術品の輸送	元日本通運(株) 浅賀博靖氏
11	重量品輸送(道なき山奥へ風力発電輸送、真夜中の新幹線輸送、海外の巨大プラント建設)	(株)日通総合研究所 福島茂明氏
12	コンビニ配送の現状と課題	大島運輸(株) 大島弥一氏
13	物流の業際サービス	流通経済大学 小野秀昭
14	ITの活用について	流通経済大学 小野秀昭
15	講座の復習とまとめ	流通経済大学 小野秀昭

## ②「国際物流実践講座」の2019年度の実施状況

「国際物流実践講座」は、国際物流に携わる経営者、実務経験者を講師として招聘し、国際物流における最新動向、事例により、国

際物流の現状と課題を把握するとともに今後の展望を学修することを目標としています。春学期に半期科目として、新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表3のとおりです。受講生数は79人でした。

③「情報システム実践講座」の2019年度の実施状況

「情報システム実践講座」は、物流分野などに利用されている情報システムやその要素技術などに関わる実務者を講師として招き、具体的事例を通して最近の動向や課題などについて学びます。また、システムやネットワー

ク的设计・開発の手法についても学びます。半期科目であり、春学期は新松戸キャンパスにて、秋学期は龍ヶ崎キャンパスにて開講しました。各回のテーマ、講師は表4、表5のとおりです。新松戸の受講生数は80人、龍ヶ崎の受講生数は25人でした。

表3 「国際物流実践講座－春学期、新松戸」の2019年度の実施結果(79名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 林克彦
2	国際海上輸送の動向	日本海事センター 中村秀之氏
3	船会社の国際物流戦略	センコー汽船(株) 辰巳順氏
4	米国の最新物流事情	(株)日通総合研究所 田阪幹雄氏
5	ロシアの最新物流事情	公益財団法人 環日本海経済研究所 辻久子氏
6	インテグレータの国際物流戦略航空	FedEx 山口邦男氏
7	インドの最新物流事情	川崎陸送株式会社 樋口恵一様
8	航空貨物フォワーダーの国際物流戦略	日本通運(株) 望月和徳氏
9	中間まとめ(復習、要点整理等)	流通経済大学 林克彦
10	商社の国際物流管理	住友商事(株) 河野達也氏
11	海上貨物フォワーダーの国際物流戦略	日本通運(株) 石橋斉氏
12	物流企業の海外展開(中国)	日本通運(株) 吉田将人氏
13	ASEANの最新物流事情	(株)日通総合研究所 大原みれい氏
14	欧州の最新物流事情	流通経済大学 林克彦
15	まとめ	流通経済大学 林克彦

表4 「情報システム実践講座－春学期、新松戸」の2019年度の実施結果(80名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 増田悦夫
2	ITを活用したロジスティクス戦略立案	(株)日本ビジネスクリエイト 後藤一孝氏
3	ロジスティクスと情報システム	(株)フレームワークス 秋葉淳一氏
4	物流におけるICT活用のポイント	グリットコンサルティング(同) 野口雄志氏
5	Webシステム開発の現状と今後	ヒューマネテック(株) 田中裕樹氏
6	ITを活用した作業分析	(株)日本ビジネスクリエイト 後藤一孝氏
7	SCMに於ける情報セキュリティの課題	飛天ジャパン(株) 傘義冬氏
8	チェーン企業のデータを活用したエリアマーケティングの新潮流	技研商事インターナショナル(株) 市川史祥氏
9	統合輸配送システムとプロブデータ	光英システム(株) 池田勝彦氏
10	「物の移動、人の移動」におけるドローンやロボットの利用	ドローンワークス(株) 今村博宣氏
11	物流作業におけるスマートデバイス物流情報機器導入について	ユーピーアール(株) 小林道明氏
12	物流現場力強化のための物流技術(IoTによる作業情報と現場情報の可視化)	(株)MTI 粟本繁氏
13	パレットにおけるRFIDの利活用	日本パレットレンタル(株) 永井浩一氏
14	情報システム構築におけるプロジェクトマネジメント	フリーランスエンジニア 吉山洋一氏
15	まとめ	流通経済大学 増田悦夫

表5 「情報システム実践講座―秋学期、龍ヶ崎」の2019年度の実施結果(25名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 増田悦夫
2	統合輸配送システムとプローブデータ	光英システム(株) 池田勝彦氏
3	ITを活用したロジスティクス戦略立案	(株)日本ビジネスクリエイト 後藤一孝氏
4	大学祭休講	大学祭休講
5	ロジスティクスと情報システム	(株)フレームワークス 秋葉淳一氏
6	Webシステム開発の現状と今後	ヒューマネテック(株) 田中裕樹氏
7	SCMに於ける情報セキュリティの課題	飛天ジャパン(株) 傘義冬氏
8	物流作業におけるスマートデバイス物流情報機器導入について	ユーピーアール(株) 小林道明氏
9	「物の移動、人の移動」におけるドローンやロボットの利用	ドローンワークス(株) 今村博宣氏
10	パレットにおけるRFIDの利活用	日本パレットレンタル(株) 永井浩一氏
11	物流におけるICT活用のポイント	グリットコンサルティング(同) 野口雄志氏
12	エリアマーケティング～店舗チェーンの商圈分析手法と事例～	技研商事インターナショナル(株) 市川史祥氏
13	情報システム構築におけるプロジェクトマネジメント	(株)クレスコ 吉山洋一氏
14	物流現場力強化のための物流技術(IoTによる作業情報と現場情報の可視化)	(株)MTI 粟本繁氏
15	まとめ	流通経済大学 増田悦夫

## ④「ダイレクトマーケティング実践講座」の2019年度の実施状況

「ダイレクトマーケティング実践講座」は、近年、市場が大きく拡大している通信販売、ネット販売といったダイレクト・マーケティングをテーマに、通販業界の実務家を招き、講義を進めます。ダイレクト・マーケティングの進展は、小売業における店舗型から無店舗型への変化というだけでなく、メーカー、

卸、小売のサプライチェーン、さらに物流業に大きな影響をもたらしつつあります。本講座は、このような展開を、広く学んでいきます。半期科目であり、秋学期に新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表6のとおりです。受講生数は68人でした。なお、本講座は公益社団法人日本通信販売協会が後援しています。

表6 「ダイレクトマーケティング実践講座―春学期、新松戸」の2019年度の実施結果(68名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	通販市場の現状	公益社団法人 日本通信販売協会 西郷祐二氏
3	ネット通販市場と企業の動向	柿尾正之事務所 元 公益社団法人 日本通信販売協会 柿尾正之氏
4	ダイレクトマーケティングとロジスティクス	流通経済大学 矢野裕児
5	UPDATE eコマース	ヤフー(株) 白山 達也氏
6	(株)スクロール&(株)スクロール360	(株)スクロール 高山隆司氏
7	インターネット通販の展開	中山茂マーケティングデザイン(株) 元(株)千趣会 中山茂氏
8	ホントに痩せてる!?テレビ通販の真実 番組等表現及び商品チェックの現状	(株)グランマルシェ 倉又徹夫氏
9	顧客満足作りのポイント―「購入後満足」と「個性化」をいかに具体化するか―	(株)カタログハウス 高遠裕之氏
10	オムニチャネルとラストマイル	流通経済大学 矢野裕児
11	メーカー系通販の展開	ライオン(株) 永井隆志氏
12	スマホが変えたネットコマースと越境ECの可能性	(有)スタイルビズ 青山直美氏(村山らむね)
13	通販業界の変遷とフルフィルメントサービスの要諦	(株)スクロール360 勝井武二氏
14	「カタログギフト」の進化、そこから広がるビジネスの可能性	リンベル(株) 細谷光弘氏
15	まとめ	流通経済大学 矢野裕児

## ⑤「ロジスティクス企業訪問講座」の2019年度の実施状況

企業がロジスティクスをどのように考え、システムを構築しているかについて、企業訪

## ロジスティクス産学連携コンソーシアムの紹介

間を通じて考察します。実際の現場を訪問することによって、学生が実感として理解することを目標としています。2019年度は秋学期に2班で合わせて14箇所を訪問し、現場でロジスティクス担当者が概説し、物流現場を実際に見学しました。半期科目で、企業訪問を

実施することから、授業期間中の土曜日、夏季休暇中の8月から10月に集中講義で、開講しました。各回のテーマ、訪問先は表7、表8のとおりです。秋学期1班の新松戸の受講生数は21人、龍ヶ崎の受講生数は8人でした。秋学期2班の新松戸の受講生数は14人でした。

表7 「ロジスティクス企業訪問講座—秋学期1班、新松戸・龍ヶ崎」の2019年度の実施結果  
新松戸(21名) 龍ヶ崎(8名)

回	テーマ	講師
1	企業訪問講座ガイダンス-1 ・企業訪問講座の全体像 ・訪問場所のロジスティクスの概要	流通経済大学 矢野裕児、洪京和
2	企業訪問講座ガイダンス-2 ・訪問スケジュール ・訪問時の注意事項	流通経済大学 矢野裕児、洪京和
3	最新の物流システム、物流機器の見学	ロジスティクスソリューションフェア 東京ビッグサイト 訪問企業ブース 大和ハウス工業、日鉄ソリューションズ、日本通運、日本電気
4	小売業から物流業務を委託された物流センターの見学	SBSロジコム(株) 野田木野崎支店
5	トラック工場の見学	UDトラック(株) 上尾工場
6	メーカーから物流業務を委託された物流センターの見学	トワ流通(株) 小絹センター
7	通信販売の物流センター見学(先端物流機器の見学)	(株)ホームロジスティクス ニトリ統合発送センター
8	物流センター見学(先端物流機器の見学)	Intelligent Logistics Center PROTO
9	通信販売の物流センター見学(先端物流機器の見学)	Shoplist Logistics Center(SLC)、三井倉庫ロジスティクス(株)
10	トイレットメーカーの物流センター見学	花王ロジスティクス(株) 岩槻ロジスティクスセンター
11	まとめ	流通経済大学 矢野裕児、洪京和

表8 「ロジスティクス企業訪問講座—秋学期2班、新松戸・龍ヶ崎」の2019年度の実施結果  
新松戸(14名)、龍ヶ崎(0名)

回	テーマ	講師
1	企業訪問講座ガイダンス-1 ・企業訪問講座の全体像 ・訪問場所のロジスティクスの概要	流通経済大学 矢野裕児、洪京和
2	企業訪問講座ガイダンス-2 ・訪問スケジュール ・訪問時の注意事項	流通経済大学 矢野裕児、洪京和
3	最新の物流システム、物流機器の見学	ロジスティクスソリューションフェア 東京ビッグサイト 訪問企業ブース 大和ハウス工業、日鉄ソリューションズ、日本通運、日本電気
4	小売業から物流業務を委託された物流センターの見学	SBSロジコム(株) 野田木野崎支店
5	食品メーカー工場の省人化の取り組み見学	味の素(株) 味の素グループうま味体験館(AUSS)
6	物流システム、物流機器の見学	TOYOTA L&F カスタマーズセンター
7	館内物流の仕組みの見学	佐川急便(株)館内物流 東京ソラマチ
8	小売業の物流センター見学	(株)カスミ 佐倉流通センター
9	物流の歴史を学ぶ	物流博物館
10	宅配便のセンター見学	ヤマト運輸(株) 羽田クロノゲート
11	まとめ	流通経済大学 矢野裕児、洪京和

### ⑥「ロジスティクス改善演習」の2019年度の実施状況

「ロジスティクス改善演習」では、物流部門の現場で発生する課題を題材として取り上

げ、現状の問題点の整理を行い、各種手法を用いて改善案を検討します。この演習を受講することにより、物流システムに関する理解を深め、分析手法を習得するとともに、分析

能力や改善案を提案できる能力を習得することを目標としています。半期科目として、新松戸キャンパスと龍ヶ崎キャンパスで実施し

ました。各回の内容は表9のとおりで、新松戸の受講生数は22人、龍ヶ崎の受講生数は6人でした。

表9 「ロジスティクス改善演習－秋学期、新松戸・龍ヶ崎」の2019年度の実施結果  
秋新松戸(22名)、龍ヶ崎(6名)

回	テーマ	訪問先、講師
1	ガイダンス	ロジスティクス改善演習の講義内容、日程を理解する。
2	ミニチュアシミュレータによるラック配置の立案	ミニチュアシミュレータを用いて倉庫内のラック配置を設計する。
3	ミニチュアシミュレータによるラック配置の検討	ミニチュアシミュレータを用いて倉庫内のラック配置を検討する。
4	ミニチュアシミュレータによるラック配置の作成	ミニチュアシミュレータを用いて倉庫内のラック配置を設計する。
5	RALCモデルによる設計	ミニチュアシミュレータによる設計をRALC上でモデル化し、シミュレーションを行う。
6	RALCモデルによるシミュレーション	ミニチュアシミュレータによる設計をRALC上でモデル化し、シミュレーションを行う。
7	ラック配置シミュレーションレポート	ミニチュアシミュレータによるラック配置シミュレーションのレポートを作成する。
8	サプライチェーンゲームの概要	サプライチェーンゲームであるビールゲームの内容を理解し、進行手順を学習する。
9	サプライチェーンゲームの実施	ビールゲームを実施する。
10	サプライチェーンゲームの実施	ビールゲームを実施する。
11	サプライチェーンゲームの分析	ビールゲームの結果を集計し、分析する。
12	サプライチェーンゲームレポート	ビールゲームのレポートを作成する。
13	サプライチェーンにおけるCO <sub>2</sub> 排出量	サプライチェーンにおけるCO <sub>2</sub> 排出量の算出方法を学習する。
14	モーダルシフトによるCO <sub>2</sub> 排出量の解析	事例データを用いたモーダルシフトによるCO <sub>2</sub> 排出量の削減を計算する。
15	モーダルシフトによるCO <sub>2</sub> 排出量レポート	モーダルシフトによるCO <sub>2</sub> 排出量のレポートを作成する。

### ⑦「IoTロジスティクス実践講座」の2019年度の実施状況

「IoTロジスティクス実践講座」は、2018年から新たに開講された科目です。最近のIoT、ロボット、AIなどの技術の進展は目覚ましく、この動向は今後ロジスティクスを大きく変革していくことが予想されます。本講座では、このようなIoT、ロボット、AIなどの現状、さらにロジスティクス分野での応用可能性、そしてロジスティクスが今後どのような展開をしていくのかについて、考えていきます。本講座は、IoT、ロボット、AI関連、物流関連の客員講師から講義をしていただく

かたちです。半期科目であり、秋学期に新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表10のとおりです。受講生数は68人でした。

### ⑧「地域ロジスティクス実践講座」の2019年度の実施状況

「地域ロジスティクス実践講座」は、2018年から新たに開講された科目です。地域の経済、産業、さらには我々が生活する上において、物流、ロジスティクスは重要な役割を果たしています。本講座は、地域経済、地域産業、我々の生活において、物流、ロジスティ

表10 「IoTロジスティクス実践講座－秋学期、新松戸」の2019年度の実施結果(68名)

回	項目	内容
1	ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	IoT、AI、ロボティクスを活用したロジスティクスソリューション	シーオス(株) 松島聡氏
3	物流業界におけるロボティクス、IoTの活用-スマートロジスティクス-	(株)日立物流 神宮司孝氏
4	花王のロジスティクスシステム～ロジスティクス分野でのIoT活用～	花王(株) 山口裕人氏
5	IoT、第4次産業革命の動向	流通経済大学 矢野裕児
6	IoT、ロボット、AIで激変するロジスティクス	(株)ダイワロジテック 秋葉淳一氏
7	RFIDの活用と課題	東芝テック(株) 神戸幸彦氏
8	データドリブンLogistics	GROUND(株) 杜世橋氏
9	IoTが実現する未来の輸配送	(株)Hacobu 佐々木太郎氏
10	世界と日本のロジスティクス技術動向	(株)日通総合研究所 井上文彦氏
11	生産と物流「Industrie4.0」と「Logistics 4.0」	味の素パッケージング(株) 恒吉正浩氏
12	物流ネットワークでの情報化進展	日本パレットレンタル(株) 永井浩一氏
13	物流事業者による新技術を利用したロジスティクス改革	大塚倉庫(株) 元日本通運(株) 宮川治樹氏
14	IoTがもたらすロジスティクス変革	流通経済大学 矢野裕児
15	まとめ	流通経済大学 矢野裕児

クスがどのような役割を果たしているかについて、広く理解することを狙いとしています。地域の物流の特徴を知ると同時に、地域農産物、特産品、地域小売業などの物流、ロジスティクスの仕組み、さらに最近問題となっている買い物弱者問題などの現状と課題など、様々な視点から考えます。そして今後、地域

活性化、地域発展において、物流、ロジスティクスがどのような役割を果たしていくべきか、新たな地域ロジスティクスのあり方について、考えていきます。半期科目であり、秋学期に龍ヶ崎キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表11のとおりです。受講生数は17人でした。

表11 「地域ロジスティクス実践講座－秋学期、龍ヶ崎」の2019年度の実施結果(17名)

回	項目	内容
1	ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	いばらきの地域特性～茨城県の産業と経済	常陽産業研究所一般社団法人常陽地域研究センター 廣田善文氏
3	ソーシャルシフトと改善活動	(株)カスミ 齋藤雅之氏
4	本県産農林水産物の販売・流通に関する施策について	茨城県営業戦略部販売流通課 宮崎康宏氏氏
5	首都圏を支える茨城県の物流	十和運送(株) 結束洋氏
6	地元物流事業者と地域産業	沼尻産業(株) 中崎裕市氏
7	カガミクリスタルの展開と地域とのかかわり	カガミクリスタル(株) 望月英俊氏
8	アパレルにおけるサプライチェーン	(株)アダストリア 丸子淳一氏
9	茨城県港湾計画について	茨城県土木部港湾課 市川大暉氏
10	地域に根差した企業として「ロジスティクス」への取り組みについて	(株)日立物流東日本 小田切仁氏
11	地域の稼ぐ力を創造する「地域商社」	(株)ファーマーズ・フォレスト 松本謙氏
12	茨城県の物流概況	一般社団法人茨城県トラック協会 茨城流通サービス(株) 小倉邦義氏
13	諸岡の展開と地域とのかかわり	(株)諸岡 諸岡正美氏
14	地域産業とロジスティクス	流通経済大学 矢野裕児
15	まとめ	流通経済大学 矢野裕児

## ⑨「全国通運連盟寄付講座」の2019年度の実施状況

「全国通運連盟寄付講座」は、鉄道貨物輸送をテーマとして、物流博物館、JR貨物、鉄道利用運送事業者、荷主企業の実務者を招

き、鉄道貨物輸送の現状、課題、今後の展望を広く学びます。半期科目であり、新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表12のとおりです。受講生数は104人でした。

表12 「全国通運連盟寄付講座－秋学期、新松戸」の2019年度の実施結果(104名)

回	項目	内容
1	ガイダンス	流通経済大学 林克彦
2	物流の歴史(1)	物流博物館 玉井幹司氏
3	物流の歴史(2)	物流博物館 玉井幹司氏
4	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(1)	日本通運(株) 小野哲平氏
5	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(2)	(株)丸運 岡本将一氏
6	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(3)	SBSロジコム(株) 青柳大氏
7	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(4)	センコー(株) 小代幸穂氏
8	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(5)	協同組合全国地区通運協会 石井清之氏
9	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(6)	協同組合全国地区通運協会 石井清之氏
10	JR貨物に関する知識(1)	日本貨物鉄道(株) 堤坂拓哉氏
11	JR貨物に関する知識(2)	日本貨物鉄道(株) 吉田真也氏
12	荷主企業における物流と鉄道コンテナ輸送(1)	屋久島電工(株) 宮田昇氏
13	荷主企業における物流と鉄道コンテナ輸送(2)	(株)ブルボン 稲田浩氏
14	日本経済と鉄道貨物輸送ネットワークのあり方について	流通経済大学 林克彦
15	講義のまとめ	流通経済大学 林克彦